

愛鳥週間前にバードハウスを制作・設置

4月28日(火)愛鳥週間(5月10日~16日)を前に、バードハウス(巣箱)作りと設置を酒田市の西荒瀬保育園の園児達が行いました。

これは、西荒瀬保育園で取り組んでいる「みどりの保育園」推進事業の一環として実施したもので、併せてバードレストラン(餌台)の設置も計画しましたが、繁殖期には動物性タンパク質の餌の摂取が必要なことから、餌の少なくなる秋から冬にかけての設置に計画を変更しました。

春の太陽が降り注ぐ中、25名の園児と21名の保護者が保育園の駐車場に集まり、バードハウス作りの注意事項を聞いた後、制作に取りかかりました。

制作にあたっては、組み立て方をみんなで考えて作ることにし、あえて組み立て方法は指導しませんでしたので、各グループで組み立てる順序がまちまちになりました。

最初は恐る恐る釘を打っていた園児達も、打つコツを覚えると金槌の使い方も上達して、30分位で完成させることができました。

完成したバードハウスに油性ペンで鳥、花、名前などを書くことを教えると、園児達は面白がって夢中になり、なかなか止めようとはしませんでした。

たくさんの図や名前でカラフルなバードハウスが出来上がりましたので、完成したバードハウスを保育園周辺のクロマツ林内に設置することにしました。

準備した梯子を使って各グループ毎にバードハウスを設置すると、園児達からの「いつから鳥が入るのか」との質問には担当者も返答に困ってしまいました。

鳥が気にいらないければ入らない場合も有ることを教えると、必ず入るものだと思っていた園児は残念そうにうなづいていました。(野鳥さんよろしくお祈いしますよ。)

今回の事業には、忙しい中を庄内森林管理署の治山課長も指導に参加してくれました。国有林をフィールドに実施する森林環境教育には地元の森林管理署の協力が不可欠ですので、今後とも連携を深めて指導プログラムの充実を図って行きたいと考えています。

